

令和5年度

和歌山国際厚生学院 理学療法学科

シラバス

実務家教員担当科目

学校法人 響和会
和歌山国際厚生学院

講義名	疾患別理学療法Ⅳ				
講師名	松井 有史 ・ 岩田 由明 ・ 高根 良輔 ・ 北出 貴則 (全員実務家教員)				
学年・期	4年後期. 3単位. 90時間 (講義)				
講義目標	現在行われている疾患別診療と違い、理学療法は疾患別の枠を超えて患者と接する。そのため、総合的な知識を必要とする。この講義では国家試験合格を目標に様々な疾患を総合的に考え、理学療法の実践を中心に教授する。				
授業計画	第1回	国家試験対策	1	模試	松井
	第2回	国家試験対策	2	模試	松井
	第3回	国家試験対策	3	模試	松井
	第4回	国家試験対策	4	模試	松井
	第5回	国家試験対策	5	模試	松井
	第6回	国家試験対策	6	模試	松井
	第7回	国家試験対策	7	模試	松井
	第8回	国家試験対策	8	模試	松井
	第9回	国家試験対策	9	模試	松井
	第10回	国家試験対策	10	模試	松井
	第11回	国家試験対策	11	模試	松井
	第12回	国家試験対策	12	模試	松井
	第13回	国家試験対策	13	模試	松井
	第14回	国家試験対策	14	模試	松井
	第15回	国家試験対策	15	模試	松井
履修上の注意	範囲が大きいため、事前の自習が必要です				
成績評価	国家試験対策を前提とし、模試結果から総合的に判定をする。 単位認定者：松井有史				
テキスト	参考図書. その他				
	適宜プリント配布する				

講義名	疾患別理学療法Ⅳ				
講師名	松井 有史 ・ 岩田 由明 ・ 高根 良輔 ・ 北出 貴則 (全員実務家教員)				
学年・期	4年後期. 3単位. 90時間 (講義)				
講義目標	現在行われている疾患別診療と違い、理学療法は疾患別の枠を超えて患者と接する。そのため、総合的な知識を必要とする。この講義では国家試験合格を目標に様々な疾患を総合的に考え、理学療法の実践を中心に教授する。				
授業計画	第16回	国家試験対策	1 6	模試	松井
	第17回	国家試験対策	1 7	模試	松井
	第18回	国家試験対策	1 8	模試	松井
	第19回	国家試験対策	1 9	模試	松井
	第20回	国家試験対策	2 0	模試	松井
	第21回	国家試験対策	2 1	模試	松井
	第22回	国家試験対策	2 2	模試	松井
	第23回	国家試験対策	2 3	模試	松井
	第24回	国家試験対策	2 4	模試	松井
	第25回	国家試験対策	2 5	模試	松井
	第26回	国家試験事前オリエンテーション			松井
	第27回	褥瘡 1			北出
	第28回	褥瘡 2			北出
	第29回	褥瘡 3			北出
	第30回	褥瘡 4			北出
履修上の注意	範囲が大きいため、事前の自習が必要です				
成績評価	国家試験対策を前提とし、模試結果から総合的に判定をする。 単位認定者：松井有史				
テキスト	参考図書. その他				
	適宜プリント配布する				

講義名	疾患別理学療法Ⅳ	
講師名	松井 有史 ・ 岩田 由明 ・ 高根 良輔 ・ 北出 貴則 (全員実務家教員)	
学年・期	4年後期. 3単位. 90時間 (講義)	
講義目標	現在行われている疾患別診療と違い、理学療法は疾患別の枠を超えて患者と接する。そのため、総合的な知識を必要とする。この講義では国家試験合格を目標に様々な疾患を総合的に考え、理学療法の実践を中心に教授する。	
授業計画	第31回 リンパ 浮腫 1	岩田
	第32回 リンパ 浮腫 2	岩田
	第33回 リンパ 浮腫 3	岩田
	第34回 リンパ 浮腫 4	岩田
	第35回 リンパ 浮腫 5	岩田
	第36回 リンパ 浮腫 6	岩田
	第37回 リンパ 浮腫 7	岩田
	第38回 リンパ 浮腫 8	岩田
	第39回 癌リハビリテーション 1	高根
	第40回 癌リハビリテーション 2	高根
	第41回 癌リハビリテーション 3	高根
	第42回 癌リハビリテーション 4	高根
	第43回 国家試験直前オリエンテーション	松井
	第44回 和歌山県の理学療法士について 1	松井
	第45回 和歌山県の理学療法士について 2	松井
履修上の注意	範囲が大きいため、事前の自習が必要です	
成績評価	国家試験対策を前提とし、模試結果から総合的に判定をする。 単位認定者：松井有史	
テキスト	参考図書. その他	
	適宜プリント配布する	

講義名	地域理学療法学	
講師名	松井 有史（実務家教員）	
学年・期	4年後期。1単位。30時間（講義）	
講義目標	地域理学療法学とは理学療法の対象となる問題は、退院後も存在する。対象者が在宅生活を送る中で障害の悪化の予防や機能回復を図るための理学療法士および社会の活動について学習します。	
授業計画	第1回 地域理学療法について オリエンテーション 第2回 地域理学療法の基礎 第3回 他職種連携とは 第4回 地域理学療法における他職種の専門性を知る1 第5回 地域理学療法における他職種の専門性を知る2 第6回 地域理学療法における他職種の専門性を知る3 第7回 地域理学療法における治療法1（訪問理学療法の実際） 第8回 地域包括ケアシステムとは 第9回 地域包括ケアシステム（和歌山市の実際） 第10回 地域包括ケアシステム（自立支援会議1） 第11回 地域包括ケアシステム（自立支援会議2） 第12回 地域包括ケアシステム（自立支援会議3） 第13回 地域における健康体操等の実際1 第14回 地域における健康体操等の実際2 第15回 まとめ	
履修上の注意	今後の社会情勢に関わる授業になります。しっかりと復習しましょう	
成績評価	出席状況と授業への取り組みにより判断	単位認定者：松井有史
テキスト	参考図書. その他	
	適時、資料を配布する	治療の目で見えるレクリエーション 監修 高橋精一郎 著者 清水和代 神陵文庫

講義名	地域理学療法学実習		
講師名	亀井 貴史（実務家教員）		
学年・期	4年後期。1単位。30時間（講義）		
講義目標	地域理学療法学実習では施設見学を通じ、地域における理学療法士および社会の活動について学習します。また、施設にて実習を行う。		
授業計画	第1回	地域リハビリテーションの定義と制度	
	第2回	地域リハビリテーションの定義と制度	
	第3回	急性期・回復期リハビリテーション病棟を有する病院の役割	南河
	第4回	介護予防・地域支援事業と地域包括ケアシステムの理解	
	第5回	介護予防・地域支援事業と地域包括ケアシステムの理解	
	第6回	介護保険法の仕組みと利用の流れ	
	第7回	介護保険法の仕組みと利用の流れ	
	第8回	ケアプラン作成実習	
	第9回	住環境整備プラン作成実習	
	第10回	福祉施設体験実習（プライマリーネット）	
	第11回	福祉施設体験実習（プライマリーネット）	
	第12回	福祉施設体験実習（プライマリーネット）	
	第13回	福祉施設体験実習（プライマリーネット）	
	第14回	福祉施設体験実習（プライマリーネット）	
	第15回	地域リハと理学療法士の役割に関する検討会	
履修上の注意	服装は下記の要件でお願いします。 プライマリーネット：学校指定の白衣		
成績評価	出席状況・レポート・受講態度など	単位認定者：亀井貴史	
テキスト	参考図書。その他		
	プリント配布します		

講義名	臨床総合実習Ⅰ
講師名	専任教員（実務家教員）
学年	4 年 学期 前期 時間 360 時間 必修 8 単位
講義目標	これまでの実習を踏まえた理学療法の臨床思考過程と実践方法を診療チームの一員として学ぶこととする。実習内容は、臨床実習指導者の指導の下で『見学』『協同参加』『監視』の各レベルにおいて、チームの一員として一部理学療法過程を体験する。また、その経験内容は日々の課題として蓄積していくように進める。
授業計画	<p>1 週目 オリエンテーションや見学を通して多様な疾患・障害像を把握できる。</p> <p>2 週目 多様な疾患・障害像を理解し、説明できる。</p> <p>3 週目 臨床実習指導者と一緒に理学療法評価を実施できる</p> <p>4 週目 臨床実習指導者と一緒に基本的理学療法の立案を一部実施できる</p> <p>5 週目 臨床実習指導者と一緒に基本的理学療法を実施できる</p> <p>6 週目 臨床実習指導者のもと一基本的理学療法の立案を実施できる</p> <p>7 週目 臨床実習指導者のもと一基本的理学療法の一部を実施できる</p> <p>8 週目 リスクの低い患者様に臨床実習指導者の監視のもとで一部の基本的理学療法が実施できる。</p>
履修上の注意	詳細は臨床実習要綱を参照のこと 実習中は臨床実習指導者のもとチームの一員として様々な理学療法過程を経験すること
成績評価	臨床実習終了時、総合評価における成績判定（S,A,B,C,D）は原則、本学がおこなう。成績判定の資料として本学指定の評定表に加え、臨床実習報告書、臨床実習経験表、凝縮ポートフォリオを参考に、実習後発表会及び口頭試問にて判定する。
テキスト	参考図書、その他
実習の手引き	リハカルテ活用ハンドブック MEDICAL VIEW 理学療法・作業療法のSOAPノートマニュアル 協同医書出版 PT 卒後ハンドブック 三輪書店

講義名	臨床総合実習Ⅱ
講師名	専任教員（実務家教員）
学年	4年
学期	前期
時間	360時間
必修	必修
単位	8単位
講義目標	これまでの実習を踏まえた理学療法の臨床思考過程と実践方法を診療チームの一員として学ぶこととする。実習内容は、臨床実習指導者の指導の下で『見学』『協同参加』『監視』の各レベルにおいて、チームの一員として理学療法過程を体験する。また、その経験内容は日々の課題として蓄積していくように進める。
授業計画	<p>1週目 オリエンテーションや見学を通して多様な疾患・障害像を把握できる。</p> <p>2週目 多様な疾患・障害像を理解し、説明できる。</p> <p>3週目 リスクを加味した上で理学療法の内容を抽出できる。</p> <p>4週目 臨床実習指導者と一緒に基本的理学療法の一部を実施できる</p> <p>5週目 臨床実習指導者と一緒に基本的理学療法が実施できる</p> <p>6週目 リスクの低い患者様に臨床実習指導者の監視のもとで一部の基本的理学療法が実施できる</p> <p>7週目 リスクの低い患者様に臨床実習指導者の監視のもとで基本的理学療法が実施できる</p> <p>8週目 臨床実習指導者の助言・指導のもと基本的理学療法を遂行できる。実習後OSCE。</p>
履修上の注意	詳細は臨床実習要綱を参照のこと 実習中は臨床実習指導者のもとチームの一員として様々な理学療法過程を経験すること
成績評価	臨床実習終了時、総合評価における成績判定（S,A,B,C,D）は原則、本学がおこなう。成績判定の資料として本学指定の評定表に加え、臨床実習報告書、臨床実習経験表、凝縮ポートフォリオを参考に、実習後発表会及び実習後OSCEにて判定する。
テキスト	参考図書、その他
実習の手引き	実践すぐに見えるリハビリ技術マスターガイド 理学療法評価学 文光堂 ランニング 南江堂
	理学療法臨床評価ブ

講義名	臨床総合実習Ⅲ
講師名	専任教員、実務経験のある教員（各施設の実習指導者） （実務家教員）
学年・期	4学年・前期 45時間 1単位

講義目標 通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションの見学を通じて、地域とのつながりにおける理学療法士の業務の理解や障害者や高齢者に対するリハビリテーションについて経験し、理学療法士を目指す学生としての方向性を確認する。

シラバス

- 1日目 オリエンテーション・施設説明
- 2日目 指導者より地域での理学療法士の役割について説明を受ける
- 3日目 理学療法場面を見学し、指導者より理学療法士の専門性について説明を受ける
- 4日目 理学療法場面を見学し、指導者より地域の繋がりについて説明を受ける
- 5日目 実習まとめ

履修上の注意 各施設への割り振りを確認してください。
見学に行った施設へお礼状は必ず出す事。

成績評価 レポート提出、出席、受講・見学態度を総合して評価する

テキスト 参考図書、その他

特になし

本実習は「実務経験のある教員等による授業科目」に該当する
